



亀中だより

No.25 令和4年10月11日 文責:岡田



For The Students!

地域で見せる亀中生の姿…



生徒の下校が完了した職員室に電話が鳴ると、何となく“嫌な予感”がすることがあります。下校中の生徒が事故にあったのではない、不審者と遭遇したのではないかなどなど。そして、下校時の交通ルールやマナーを守れていなかったことに対するお叱りのお電話もその一つです。

中には、とても厳しい口調で、お叱りをいただくお電話もあり、ご連絡をいただくたびに、生徒指導担当、交通指導担当を中心に全校で指導し、生徒の安全の確保に努めています。しかし残念ながら、地道に指導に取り組んでいながらも、中学生の交通状況に苦情をいただくことは、なかなかなくなり、生徒や地域の方の安全への心配が絶えません。

9月16日にいただいたお電話から…

そんな中で9月16日、一本のお電話をいただきました。羽若公民館から学校へ向かう道で、登校途中の中学生と遭遇した時のことを教えていただきました。それほど広い道幅もないその場所で、自転車の中学生の列に後ろから車で追いついた時のことだそうですが、その中学生たちは、自転車を降りて、道を譲ろうとしたり、車に道を譲るために自転車を抱えて広いところまで走ってくれたりしたと、教えていただきました。その時の中学生の姿や行動が、とてもすがすがしく、うれしくなり、思わず電話をくださったというのです。



お電話をくださった方は、声を弾ませながら、その時のことを楽しそうに話してくれました。電話を受けながら、こうして地域で子どもたちを見守ってくれている方がいらっしゃることに、こちらもまたうれしく思いました。

生徒のみなさん、ヘルメットの着用をはじめ学校としての自転車通学のルールもたくさんありますし、それ以前にいわゆる交通ルールや交通社会でのマナーがあります。そしてこれらの指導を先生が丁寧に行っているのは、何よりもみなさんの命が大切であり、交通社会の中で自分とそして周りの人の命、安全を守るための行動ができる人になってほしいからにほかなりません。ただそればかりではなく、今回ご紹介した人たちのように、社会の中で、ルールやマナーだけでなく、心の通ったかわり方を大切にしていってほしいと思います。今月中には亀山新橋も開通します。あらためて交通安全に努めていきましょう。

横断歩道 “ハンドサイン” キャンペーン

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日に行われましたが、三重県は「やさしさが安全つなぐ三重の道～歩行者のハンドサインは赤信号～」をスローガンに今年の「三重県交通安全県民運動」を行っています。信号のない横断歩道で、少し手をあげて横断の意志を示すことで停止率がアップし、安全性が高まるとのことです。また横断後などに「止まってくれてありがとう」を示すことも推奨しています。気持ちのいい“交通社会の歩き方”ですね。



ハンドサイン! 意思表示